



2023年7月15日第462号
全日本年金者組合京都府本部
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp
発行責任者 山本和夫

第35回 京都府本部定期大会開催



大軍拡・増税反対

低年金の底上げ 最低保障年金制度の実現を

43兆円の大軍拡ではい
ちとくらしは守れません

府本部定期大会が6月30日、ラポール京都2階ホールで開催され、執行部・代議員など130人が集まり熱心な議論が繰り広げられました。

岸田首相の大軍拡路線、物価高騰で生活がどんどん厳しくなり、悪政4党連合でマイナ保険証の強制や社会保障後退の政治が進められる中で、いのちと暮らしを守る政治を実現していく大会となりました。

山本和夫委員長はあいさつ

高齢者が安心して暮らせる政治の実現を

なかで「43兆円もの大軍拡予算は私たちのいのちと暮らしを脅かし、戦争への道です。いのちと暮らしを大事にするたたかいをすすめ、おおいに仲間を増やそう」と訴えました。

年金改善は現役労働者の課題

来賓としてあいさつされた梶川憲京都総評議長は「年金のたたかいは現役労働者の課題でもあり、京都年金一揆を主催、一緒にデモを取り組んだ1年でした。年金改悪やマイナ保険証の国民皆保険つぶしは許され

ない。私たちも賃金上げろと春闘をいまでもたたかっている。大軍拡を撤回させ、暴走する政治の退陣を強く求めよう」とお話しされました。

楽しくなければ年金者組合ではない

討論では、サークル活動や支部での楽しい行事、高齢者をひとりぼっちにせず誕生会などを開催して「対話、おしゃべり」



もしていいこと、日帰り旅行を計画したらコロナで家に閉じこもっていった人が多く参加された経験などが次々と報告されました。

「楽しくなければ年金者組合でない」を合言葉に、生き生きとした豊かな人生を過ごそうとの運動が府内で実践されています。

仲間を増やして要求を実現させよう

補聴器購入時の補助制度についての地域の運動や会議を行う会場が少なくなってきたこと、高齢者の足を守る交通問題など、高齢者の要求運動の大切さも報告されました。

仲間を大きく増やして地域から高齢者の要求が実現できる自治体をつくっていきましょう。

夕映え

保険証を廃止しマイナンバーカードに一体化するシステムにトラブルが生じている
▼自治体議会での国への意見書採択も相次いでいる。熊本県議会の意見書には「無保険者扱いで10割負担を患者に請求した事例、マイナ保険証」に他人の情報がひもつけられていた事例、他人の医療情報が閲覧された事例、本人が希望しないのにマイナンバーカードに健康保険証が一体化された事例など様々なトラブルが明らかになっている。「と記載されている

▼厚生労働省は国民に「従来の保険証持参」を呼びかけ、河野太郎デジタル相は、NHK「日曜討論」で名称変更を突然提案。松野官房長官は「あくまで個人的な見解」と「改称」を否定した。政府も迷走している▼JNNが2日に発表した世論調査では、「撤回33%、延期40%」と73%が撤回もしくは延期と答えている▼マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられることになり、国民皆保険制度の下で国民のいのちと健康が脅かされます。国民も患者も医療機関も望んでいない健康保険証の廃止とカードの強制をただちにやめさせよう。
(Y・M)

網の目平和行進

6月21日山科〜6月26日相楽

山科支部 矢吹美根子

8月の広島、長崎を目指して全国を行進する原水爆禁止国民平和大行進が、6月21日に滋賀から京都に到着しました。山科区のラクト公園で1500人が参加して引き継ぎ式が行われ、その後、蹴上から京都市役所まで「日本政府は核兵器禁止条約に参加せよ」とアピールしながら行進しました。

私はその前の、山科区役所からラクト公園までの道のり、網の目平和行進に参加しました。行進は、20人程度でしたが、途中から入ってくる人たちやペランダから手を振ってくれる人たちに励まされました。東野や外環三条の交差点では、全赤信号の中、堂々と行進してアピールすることもでき、気持ち良かったです。



城陽支部

6月23日(金)、4年ぶりに

宇城久平和行進が行われ、城陽の各団体は大久保の交差点で合流して城陽市役所まで行進し、市役所前で集会を行いました。

大軍拡大増税に突き進む今、これまで以上に重要な行進です。核兵器廃絶、日本の核兵器禁止



条約への参加を求める私たちの声に背を向け、被爆地広島から核に固執し、抑止力を言う岸田首相に怒りを強くしました。今年を「戦前の年」にしないよう頑張ります。

「ねんきん城陽」より転載

般若寺で奈良に

相楽支部

井戸本武



6月26日、国民平和大行進の東京〜広島コースの出発



式が、精華町役場で開かれ、はじめに相楽実行委員会を代表して松田敏さん(精華町職)が「ロシアによる核使用をほめかしながらウクライナへの侵略や我国では敵基地攻撃能力の保持が叫ばれ、平和への危機感」と訴えました。続いて杉浦正省町長が激励のあいさつをされ、三原和久精華町議会議長(代読)からもメッセージが寄せられました。

行進は途中、木津川市役所前の公園で合流集会が開かれ、谷口雄一木津川市長、長岡一夫木津川市議会議長(いずれも代読)からのメッセージが披露されました。

奈良・般若寺の引継ぎ集会では、京都市進団を代表して梶川憲さん(京都総評議長)が、あいさつされました。

雨中の平和行進集会

舞鶴支部 三澤正之



福井県から、7月1日、京都府に平和行進が入り、舞鶴に引き継がれました。

平和行進が予定されていましたが、激しい降雨に見舞われ行進は中止となり、集会だけとなりました。

雨の中の集会では、基調報告の後、富山県を5月31日に出発した通し行進者・山内金久さんからあいさつがあり、その後、通し行進者のトランプベットの演奏に合わせ、「青い空は」を歌い、核兵器をなくし、平和な世界にと誓い合いました。平和行進は日本海側を歩き、鳥取を経由して8月4日に広島に入ること。翌日、宮津へと引継ぎました。年金者組合も幟を立て参加。若い方の参加も目立つ、

ひしょ濡れの中の集会となりました。

中央本部定期大会 機関紙コンクール表彰式

第26回中央本部定期大会に4人が参加・4人が発言

年金者組合中央本部の第26回定期大会が、6月20〜21日、東京・全労連会館で開催されました。京都からは山本委員長中央本部副委員長、楠・栗倉副委員長、森脇書記長、舞鶴支部の三澤書記長が参加しました。参加した4名の代議員はすべて発言し、京都での多彩な運動を報告しました。



(機関紙コンクールの表彰を受ける山本委員長)

また、中央本部が主催した機関紙コンクールの表彰が行われ、京都府本部の機関紙をはじめ、下京支部発行の『なかま』が2年連続最優秀賞を受賞し表彰されました。

**6月15日
年金支給日宣伝
四条河原町・西京
府内各地で
街頭宣伝実施**

「物価に見合う年金の支給を」と、府内各地で街頭宣伝実施
恒例の年金支給日宣伝を6月15日(木) 11時から四条河原町エディオン前で開催しました。

年金は6月支給分から1・9%上昇しましたが、物価高騰には追いつかないばかりか、マクロ経済スライドの適用で0・6%も削減されました。高齢者の生活はますます厳しくなっています。各弁士は、なんととしても「物価に見合った年金額の支給を」と力強く訴えられました。



通行される方からの激励も回を重ねるごとに多くなっています。厳しい年金生活の実態があらわれています。



藤原副委員長は「To establish a minimum guaranteed pension system (最低保障年金確立)」

と手書きされた手製宣伝ボードを手に外国人の方にも訴えられました。

外国人の方も立ち止まられ、賛意を表明、写真撮影にも応じ



てくれました。

年金支給日宣伝

西京支部／阪急桂駅

西京支部は、府本部の年金支給日宣伝に合わせて6月15日、11時から阪急桂駅西口で署名・宣伝行動を行いました。参加者は7名(女性3名)で4名が交代でハンドマイクを握り、年金裁判支援、年金制度改善を訴えました。



駅利用者の少ない時間帯でしたが、比較的ピラの受取りはよく、若い女性が署名に応じてくれるなど、手ごたえを感じる行動になりました。(事務局記)

**6月18日民主市政の会
第2回全体会議開催**

とことん市民が主人公の市政実現を！

来春の京都市長選挙を前にして、市民本位の民主市政をつくる会が6月18日(日) 10時から第2回全体会議を開催しました。集会では現市長がすすめる道

は、京都市を住み続けられない町にして人口流失を招く道であり、財政危機の本質を覆い隠して市民への負担押しつけを繰り返していく道であり、大型公共事業優先の姿勢を続けることで財政破綻に進む道です。この道を行くのか、とことん市民を主



人公に、市民のいのちと暮らしを守り住み続けられるまちを市民参加でつくる道か、まさに今大きな岐路に立っています。希望ある新しい道を一緒につくっていくと呼びかけられました。

今後の運動

民主市政の会は構成団体に対して①アピール文をもとに、全戸配布規模の「会」ピラを7月8月に作成配布します。各構成団体でその内容の学習を徹底して行い、旺盛に宣伝活動を展開しましょう。②構成団体や地域で、市長選挙にむかう体制をつくり、「会」ピラも活用して共同をひろげるとりくみを本格的にすすみましょう。③これらの共同のとりくみを通じて、私たちがめざす市政を実現する候補者の擁立に「会」として全力をあげます。④10月頃に、幅広い市民のみなさんとともに新しい市政実現をめざす大集会を開催するため、「会」として準備をすすめます。市民との共同の輪を大きく広げていきましょう。と構成団体に行動提起が行われました。年金者組合もこの訴えにこたえて市長選勝利をめざして運動をすすめていきます。

会場

長浜バイオ大学
京都キャンパス
京都市上京区河原町広小路上る
市バス京都府立病院前下車すぐ



元気で大きな年金者組合をつくろう

大会討論部分では13人の代議員が発言。仲間増やし活動、補聴器購入への公的補助制度の確立の取り組み、各地域の要求などが発言されました。地域の諸運動に積極的に参加する年金者組合の姿が交流できる討論になりました。

補聴器補助制度を実現

丹後支部・真下相一



京都府内初の「補聴器購入費助成制度」が実現しました。3年前、中山市長との懇談で、

3年ぶり「元気まつり」開催

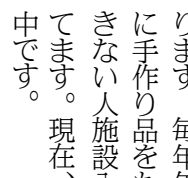
綴喜支部・高橋幸江



コロナで、2年間できなかった「元気まつり」を再開しました。半日だけの取り組みでしたが、約

孤立化の高齢者足確保を

西京支部・小島志津子



西京支部では班活動が活発に進んでいます。1か月で10か所の懇談会ができました。西山団地では、80歳以上の組合員が多く、

仲間のついでに拡大へ

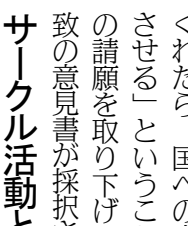
宇治久御山支部・川原政美



6月に「第13回なかまのつどい」地域の集会所で会場いっぱい25人の参加でした。不参加の組合員には丹

補聴器の助成申請採択

亀岡支部・小川正



今年6月の亀岡市議会に向けて7団体が集まり連絡

サークル活動と介護保険

中京支部・小鹿節子



組合員の要望から編物サークルとちぎり絵サークルをスタートしました。1か月おき交代で開いています。新しい

サークル機関紙で仲間増やし

舞鶴支部・竹内昌彦



3月市長選挙では推薦いただきます。

99歳母の介護で、家族介護給付券をくれます。

おむつ代に助

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。

99歳母の介護で、家族介護給付券をくれます。

おむつ代に助

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。

厚生労働省は来年3月までは継続するとだけ言っています。

来年の市長選挙の争点にして、介護保険充実の要求で頑張りたい。